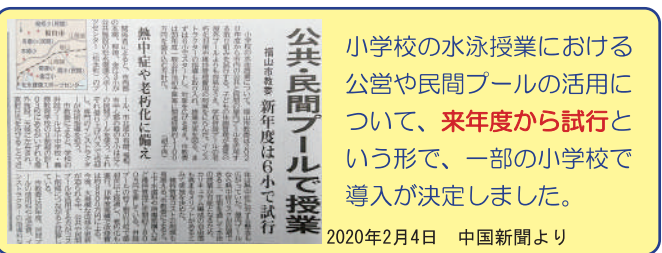


1 小中学校のプール施設の運用について 質疑

Q 近年、プールは**改修費**や**維持管理費**といった、大きな費用負担がかかり続けていて、年間数十日の水泳指導のために各学校でプールを維持していくのは、少子化の時代に負担が大きく、結果、全国的にも老朽化したプールは廃止し、水泳の授業を公営のプールや民間のスイミングスクールなどで行う自治体が増えてきた。**今後のプールの在り方を考えていく必要がある**と考え、教育長に問い質しました。

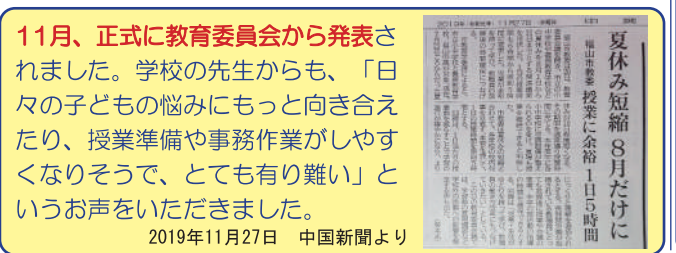
A 「近年、プールの改修費が増加していて、平成28年度は約5,100万円だったのが、昨年度は**約9,800万円まで増えた**。またプラスして、**維持管理費だけで、毎年約7,800万円**ずつかかり続けている。しかも、今後はプール施設の大規模改修が必要になってくるため、1校あたり約2億4,000万円の改修費と維持管理費が今後かかる。その為、公共や民間の施設を活用することを検討する。」とご答弁をいただきました。(一部抜粋)



2 夏休みの短縮化について 質疑

Q 近年、共働き世帯や働く女性の割合が急速に増加してきた中で、子どもたちに長期の夏休みがあることにより、各家庭への負担が増加しているとの声を保護者から多数お聞きしている。福山市においては、**育児をされている女性の有業率は、67.2%**であり、全国平均よりも高く、今後も数値が伸びていくと予想される。現在、今年度中の小中学校の全ての普通教室などへのエアコン設置が順次工事完了してる中、夏の環境下であっても子どもたちの快適な学習環境が、今後担保されやすくなると感じている。よって、**保護者の負担を減らすため**にも、夏休みを短縮化することを検討すべきであると考え、教育長に問い質しました。

A 「夏休みの短縮化は、ゆとりを持った教育活動、教職員の働き方改革など、教育環境整備の一つであると同時に、家庭の負担軽減にも有効であると考え。エアコンの設置完了を踏まえ、実施に向け検討を始める。」とご答弁をいただきました。(一部抜粋)



3 通学路の安全対策について 質疑

Q 福山市は、県内市で**交通事故の発生割合がワースト1位**。全国では子どもが交通事故に遭遇し、場合によっては命を落としてしまうという大変痛ましい事案が後を絶ちません。**子どもが安心して登下校を行えるよう**、早期のハード面、ソフト面双方の安全対策を求め、教育長へ問い質しました。

A 「ハード・ソフト両面で関係機関と連携・協議し、着実に実施することで、交通事故発生抑制・防止に繋げていく。」とご答弁をいただきました。(一部抜粋)

ご答弁を受け市へ伝えたことは、本市は事故の発生割合がワースト1であり、しかも**車両同士の事故が多い街**であるため、もし事故を起こした車がその事故で車ははじかれ、通学時に交差点を渡るために信号待ちをしている小学生の中に突っ込んでしまったら、**誰がその子たちを守るのか?**と。だからこそ、早期に交差点に車が乗り上げないようにする為、**鋼鉄製のポールを設置してほしい**と要望をしました。ちなみに、岡山市では今年度末までに、通学路や保育園の園外活動の経路にある交差点の歩道に、車の乗り上げ防止のための鋼鉄製のポールを設置する予定です。通学路の安全対策は、**子どものためだけでなく、あらゆる世代の方々が安心安全に暮らせるための、大切なまちづくりの施策**です。だからこそ、早急なる対応を要望しました。

『9月議会 本会議での一般質問』

- 1、小中学校のプール施設の廃止、公営のプールや民間のスイミングスクールの利活用について
- 2、小中学校の普通教室などへのエアコン設置に伴い、各家庭の負担軽減のためと教育の質の向上の為の夏休みの短縮化について
- 3、学力向上アドバイザーの活用と本市全体の児童生徒の学力向上に向けた取り組みについて

『12月議会 本会議での一般質問』

- 1、デジタル地域通貨「地域コイン」を活用した地域活動や地域経済の活性化策について
- 2、企業の慢性的な人手不足の解消策について
- 3、通学路の安全対策について
- 4、スクール弁護士の導入について

今回の質問項目も、私のホームページ上での市民の方々からの、市政へのご意見やご要望をお聞かせいただくシステムである「福山目安箱」にお寄せいただいた生の声も参考にさせていただき、質問を構成しました。こうやってお一人お一人の声を直接お聞かせいただけ、それを議会の場で提案させていただけることを大変嬉しく感じています。

『福山目安箱』
福山に暮らしていて困っている事、改善してほしい事、もっとこうすれば福山の街が良くなる...などを聞かせて下さい!!

リンク先はわたしのHP内になります。

お名前・連絡先の記入は必要ありません。

上記の議会での質問の映像記録をきだこうへい個人のホームページに公開しております。質問の様子の手がかりが公開されておりますので、詳しくはそちらをぜひご覧ください。

市民の方からお寄せいただきましたご要望・ご相談の案件にお答え・お手伝いしました(一部抜粋)

教育関連案件

「安全な通学路の為に」
「植えられた木の根が大きくなりすぎて、敷いてあるレンガを崩し、浮いている為、歩行中によくつまづいている。何とかならないだろうか?」
すぐに現地を確認後、市の担当課と協議。現状回復のためには、木を取り除いての道路復旧が最善であると判断され、木を撤去後に復旧されました。

修繕前：歩道がボコボコ 修繕後：歩きやすくなりました

「崩れたままの通学路」
「いつも我が子たちが通学路で使っていた道路が、昨年の豪雨災害で崩壊したまま。早期に復旧し、安心安全に通学できる環境整備ができないだろうか?」
現地の状況を確認後、市の道路整備課と連携すると、県の管轄道路だと判明。すぐに県の担当課と連携を取り、道路復旧工事が完了。

復旧前：危険すぎる! 復旧後：きれいになりました

「学校のベランダにある危険な手すり」
「小学校の校舎の外廊下に設置されている手すりの支柱の根本部分が激しく損傷している。このままでは手すりに寄りかかったときに支柱が折れて、子どもが落下してしまう危険性もある。何とか早急に修繕してもらえないだろうか?」
すぐに教育委員会と連携を取り、大変危険だと判断してください、迅速にご対応いただき、修繕完了しました。

修繕前：根本が折れそう 修繕後：これで安心です!

「補聴器の助成拡充について」
「我が子は、身体障害者手帳は交付されていないが、中等度の難聴で補聴器を使用している。体育の時間等、運動の最中に落下して、よく故障をしてしまうのだが、その故障の修理費用は、補聴器が医療機器のためかなりの高額になる。補聴器の最初の購入に対して、市からの一部助成はあるのだが、修理費用に対しては何も助成がなく、かなりの負担である。何とか市からの助成拡充へのご対応をお願いできないだろうか?」
障がい福祉課と連携。制度の拡充までには、時間がかかりましたが、令和元年度予算が議会で可決され、正式に決定しました。

「滑りやすく危険な公園」
「いつも子どもと遊びに行っている公園で、公園内のちょうど真ん中の所にコンクリートで表面を固められた箇所が横断していて、走り回る子どもたちが通る度、次々にその砂で足をとられ、滑り、転んでいる。何とか対応をお願いできないだろうか?」
すぐに現地を確認し、公園緑地課と連携。滑り止めのマットを設置する方法が適していると判断し、工事を着工・完了。

対策前：確かに滑りそう! 対策後：これで滑りません

